

六甲F B 5大会ぶり王座を



全国大会初戦を控え、同じ近畿地区の文の里クラブとの実戦練習で汗を流す六甲F Bの選手たち。神戸市東灘区、カネディアン・アカデミー

全国クラブラグビー、21日初戦

ラグビーの第25回全国クラブ大会で、24年連続24度目出場の六甲ファイティングブル(F B)は、21日、初戦の2回戦で駒場W M M(首都圏)とぶつかる。最近4大会は準決勝で敗退しており、5大会ぶりの王座奪還を期す。京都市の宝が池球技場で午後2時キックオフ。

六甲F Bは前回、準決勝で神奈川タマリバクラブ(首都圏)に10-10で引き分け、抽選の末に決勝進出を逃した。今季主将を務めるフランカー中村圭佑(東福岡高校)は「悔しかったが、こんなに熱くなれるんだと思った。」

今年には絶対優勝するという強い気持ちがある」と闘志を燃やす。今季の六甲F Bは走力の高いバックスを生かした展開ラグビーに磨きをかけてきた。英国出身のS Oヘンリー・グリーンヘルクラ新戦力も心強い。スーパールグビーの試合動画をチームのグループラインで共有するなど、最新の戦術も貪欲に学んできた。

対戦相手の駒場W M Mも、早大や慶大出身の選手がそろった全国大会の常連チーム。覇権奪回への道のりはたやすくはないが、「準備してきたことをしっかり出せば、初戦を勝って勢いづきたい」と中村主将。全国優勝6度の名門の誇りをかけ、今年こそ準決勝の壁を破り、悲願の日本一へ突き進むつもりだ。(山本哲志)

高い展開力、新戦術に磨き